

## 令和6年3月1日現在の世帯数と人口

(千種区 18.18Km<sup>2</sup>)

学区名	世帯数	人 口			対前月増減	
		総数	男	女	世帯数	人口
1 千 種	5,917	9,264	4,680	4,584	△ 9	△ 5
2 千 石	4,155	6,883	3,449	3,434	△ 10	△ 26
3 内 山	5,766	7,988	4,279	3,709	0	4
4 大 和	3,603	6,641	3,286	3,355	0	△ 7
5 上 野	7,532	15,424	7,552	7,872	29	31
6 高 見	7,415	13,291	6,345	6,946	12	10
7 春 岡	7,064	11,017	5,829	5,188	8	1
8 田 代	11,362	21,925	10,490	11,435	△ 14	△ 15
9 東 山	10,319	18,981	9,266	9,715	△ 7	△ 38
10 見 付	4,519	8,359	4,211	4,148	△ 3	△ 10
11 星 ケ 丘	3,588	6,825	3,028	3,797	△ 1	△ 6
12 自 由 ケ 丘	3,545	7,155	3,263	3,892	△ 2	△ 2
13 富 士 見 台	6,510	15,066	6,841	8,225	△ 2	△ 25
14 宮 根	3,802	7,973	3,691	4,282	△ 4	△ 14
15 千 代 田 橋	3,750	8,187	3,851	4,336	△ 7	△ 27
千 種 区 計	88,847	164,979	80,061	84,918	△ 10	△ 129
R5. 3. 1	87,691	164,687	79,898	84,789	△ 36	△ 158
対 前 年 比	1156	292	163	129	26	29
名 古 屋 市	1,159,281	2,325,207	1,141,156	1,184,051	△ 15	△ 1,311
愛 知 県 ( R6. 2. 1 )	3,334,365	7,474,927	3,722,280	3,752,647	358	△ 3,647

前月中の増減内訳	自然動態			社会動態		
	出 生	死 亡	自然増減	転 入	転 出	社会増減
	66	150	△ 84	844	889	△ 45

【参考】

国勢調査千種区人口				これまでの最大人口と最小人口(千種区)	
昭和60年	163,762	平成17年	153,118	最大人口	173,598 (昭和50年2月1日)
平成2年	156,478	平成22年	160,015		
平成7年	148,847	平成27年	164,696		
平成12年	148,537	令和2年	165,245	最小人口	146,727 (平成11年4月1日)

注) 学区別の世帯数と人口は、令和2年国勢調査結果の本市独自集計速報値であり、後日総務省から公表される数値と異なる場合があります。

## 千種区の人口密度の概況

今回は令和5年10月1日現在の各区と千種区の各学区の人口密度を他区と比較しながらみていきます。

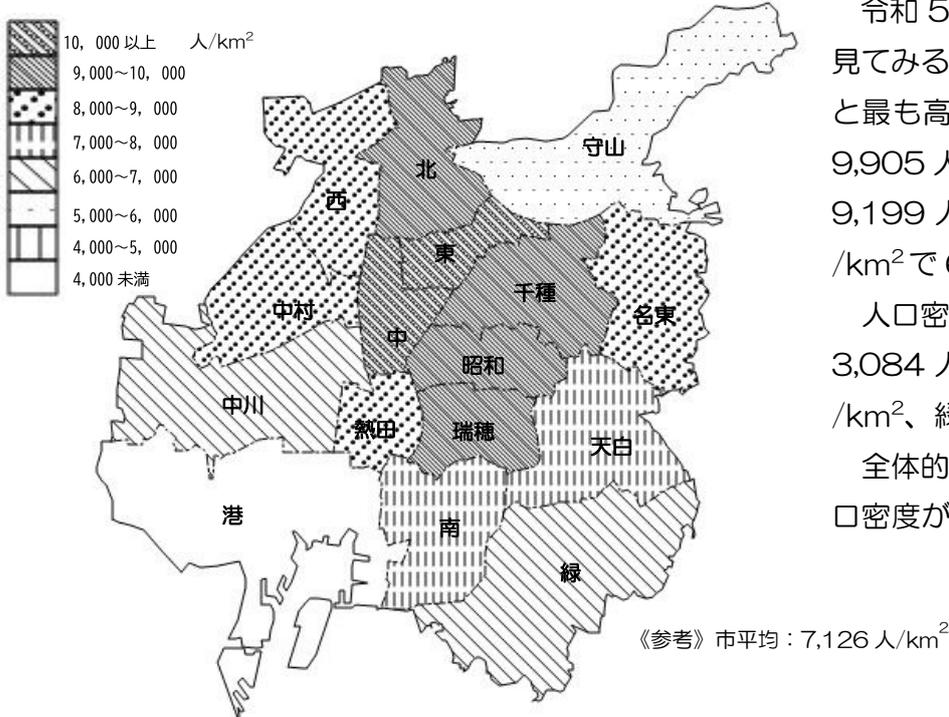


図1:区別人口密度(令和5年10月1日現在)

令和5年10月1日現在の区別人口密度をしてみると(図1)、東区が11,247人/km<sup>2</sup>と最も高く、中区10,591人/km<sup>2</sup>、昭和三区9,905人/km<sup>2</sup>、瑞穂区9,598人/km<sup>2</sup>、北区9,199人/km<sup>2</sup>、と続き、千種区は9,081人/km<sup>2</sup>で6番目でした。

人口密度が低いほうから見てみると、港区が3,084人/km<sup>2</sup>で最も低く、守山区5,200人/km<sup>2</sup>、緑区6,534人/km<sup>2</sup>と続きます。

全体的に見てみると、名古屋市の中心部は人口密度が高く、郊外は低い傾向が見られます。

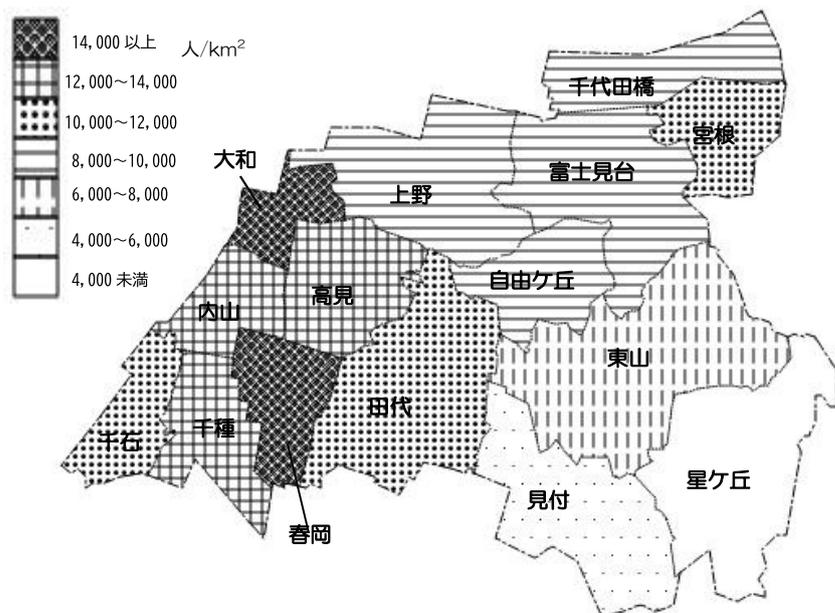


図2:千種区の学区別人口密度(令和5年10月1日現在)

続いて、千種区の人口密度を見ていきます。令和5年10月1日現在の千種区の学区別人口密度が高い順に春岡(14,932人/km<sup>2</sup>)、大和(14,152人/km<sup>2</sup>)、内山(13,016人/km<sup>2</sup>)、高見(12,474人/km<sup>2</sup>)、千種(12,120人/km<sup>2</sup>)の順となっています。

人口密度が低いほうから見てみると星ヶ丘(3,207人/km<sup>2</sup>)、見付(5,460人/km<sup>2</sup>)、東山(7,894人/km<sup>2</sup>)、上野(8,436人/km<sup>2</sup>)、千代田橋(8,695人/km<sup>2</sup>)の順となっています。

区の西側の学区が高いのに対して、東山公園や名古屋大学を含む星ヶ丘学区や見付学が低くなっているのが分かります。